



国際理事 川島 正行

祝 辞

春の風を感じる頃、貴地区第68回年次大会を創意工夫の中迎えられます事お慶び申し上げます。今年度もコロナが収まらない中、地区の運営は思い通りにいかず歯がゆい思いもあったかもしれません。まずは私たちの心がコロナに負けていてはいけません。

本日のこの年次大会は私たちの今までの一年の区切りとして、また次の新たな一年をのぞむ大会になりますが、貴地区におかれましては地区ガバナーの強いリーダーシップのもと会員皆様の安全と健康を一番に考え奉仕活動されましたことに感謝申し上げます。

今期ダグラス X. アレキサンダー国際会長は「心からの奉仕」と発信されていますが、それは「心の中の情熱を行動にうつす」と話され、今後ライオンズは人道的奉仕の世界的リーダーになれるよう協会を新たなステージにし、私たちライオンズから奉仕を創っていくと発信されています。

言葉だけでなく行動していかなければなりません。

もしも動くことに行き詰ってしまった時、それは重荷ではなく背負い方が悪いのかも知れません。今はすべてにおいて不確定な時代です。

不確定期の答えは今までの延長上にはありません。考えられない事を考えていく、そんな強さを胸にライオンとしての存在意義を考え行動していかなければなりません。

出来ない理由ではなく「創造的対応」で出来るやり方を考えていく、大変な一年でありましたが改めて会員皆様に感謝申し上げます。

結びに、まだ暫くはコロナが終息するには時間がかかると思いますが、その中 本大会の開催にご尽力いただきました関係者の皆様へ敬意を表しますと共に、メンバー皆様のご健康と益々のご活躍そして貴地区の発展をご祈念しお祝いの言葉といたします。

We Serve